

令和 6（2024）年度 資源評価調査状況報告書（拡大種）

サルエビ瀬戸内海

対象水域	瀬戸内海	参画機関名	水産研究・教育機構 水産資源研究所 底魚資源部、大阪府立環境農林水産総合研究所 水産技術センター、兵庫県立農林水産技術総合センター 水産技術センター、岡山県農林水産総合センター 水産研究所、広島県立総合技術研究所 水産海洋技術センター、山口県水産研究センター 内海研究部、徳島県立農林水産総合技術支援センター 水産研究課、香川県水産試験場、福岡県水産海洋技術センター 豊前海研究所、大分県農林水産研究指導センター 水産研究部 北部水産グループ
------	------	-------	---

- ・ 令和 5 年度資源評価調査報告書を公表済み（http://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2024/03/trends_2023_151.pdf）、次回令和 8 年度を予定

(1) 調査の概要

- ・ 各府県は漁獲情報収集調査を実施
- ・ 本年度は資源評価調査報告書の作成は行わず、漁獲統計等の更新および関連情報の収集を実施

(2) データ収集状況

- ・ 大阪府では、標本漁協における1984～2023年のサルエビを含む「小えび類」の月別の漁獲量と延べ操業日数、2020～2023年のサルエビの月別漁獲割合、2020～2023年の雌雄別月別全長組成データを収集済み、2024年以降の同様のデータを収集中
- ・ 兵庫県では、標本漁協の小型底びき網における1992～2023年のサルエビのCPUE（1日1隻あたり漁獲量）を収集済み、2024年以降の同様のデータを収集中
- ・ 岡山県では、標本漁協および標本漁船における2020～2023年のサルエビ（トラエビ等の多種も含む）の月別の漁獲量と延べ操業日数を収集済み、2024年以降の同様のデータを収集中
- ・ 広島県では、2022～2023年の小底標本船による日別のぶとえび銘柄の漁獲量と操業回数を収集済み、2024年以降の同様のデータを収集中
- ・ 山口県では、2012～2023年の小底によるCPUE、調査船による2023年の分布調査（新規加入量調査）データを収集済み、2024年以降の同様のデータを収集中
- ・ 徳島県では、2003～2023年の標本漁協における小底による小えび類の月別漁獲量と努力量を収集済み、2024年以降の同様のデータを収集中
- ・ 香川県では、2002～2023年の標本漁協における小底によるサルエビの漁獲量と努力量

を収集済み、2024年以降の同様のデータを収集中

- ・福岡県では、2019～2023年の標本船における小底によるサルエビのCPUEを収集済み、2024年以降の同様のデータを収集中
- ・大分県では、1981～2023年の標本船における小底によるサルエビの漁獲量と努力量を収集済み、2024年以降の同様のデータを収集中

(3) 生物学的特性

- (1) 分布・回遊：令和5年度資源評価調査報告書を参照 (http://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2024/03/trends_2023_151.pdf)
- (2) 年齢・成長：同上
- (3) 成熟・産卵：同上
- (4) 被捕食関係：同上

(4) 備考

特になし